

令和2年度中学校国語科授業づくり研修会

徳島県教育委員会学校教育課

1

【中学校国語】の調査作成の枠組み

- 学習指導要領に示されている **3領域1事項** に基づいて、その全体を視野に入れながら中心的に取り上げるものを精選して出題。
- 過年度の調査結果に見られる課題等も踏まえながら、中学校第2学年までの内容で出題。
- 問題の形式は、**選択式**、**短答式**、**記述式**の3種類。記述式の問題では、複数の考え方、答え方があるものなどについて出題。

2

「全国学力・学習状況調査」で、どんな問題が出題されているか？

新学習指導要領（平成29年告示）では、教科等の目標や内容について、生きて働く「**知識及び技能**」、未知の状況にも対応できる「**思考力、判断力、表現力等**」、学びを人生や社会に生かそうとする「**学びに向かう力、人間性等**」という三つの柱に基づいて再整理されており、これらの資質・能力の三つの柱は相互に関係し合いながら育成されるものという考え方に立っている。

平成31（令和元）年度以降の調査問題については、こうした新学習指導要領の考え方への各教育委員会や各学校の理解を促すため、従来の「主として『**知識**』に関する問題（A問題）」と、「主として『**活用**』に関する問題（B問題）」に区分するといった整理を見直して、**知識・活用を一体的に問う調査問題**を構成することになっている。

「全国学力・学習状況調査」は、生徒の学力や学習状況の把握にとどまらず、その結果を基に**授業を改善し、生徒への指導を充実させること**を目的としています。

3

令和元年度 全国学力調査 問題別集計結果

徳島	全国	比較	番号	徳島	全国	比較	無解答率	
70	72.8	-2.8	1一	61.7	63.9	-2.2	0.1	文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ
			1二	58.7	61.5	-2.8	0.1	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える
			1三	90.2	91.2	-1.0	2.1	文章に表れているもの見方や考え方について、自分の考えをもつ
			1四	52.2	56.8	-4.6	7.6	封筒の書き方を理解して書く
			2一	76.9	80.4	-3.5	0.4	話合いの話題や方向を捉える
			2二	69.1	69.7	-0.6	0.4	相手に分かりやすく伝わる表現について理解する
			2三	57.2	60.4	-3.2	12.3	話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ
			3一	87.1	87.4	-0.3	0.8	書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する
			3二	75.2	77.8	-2.6	11.0	伝えたい事柄について、根拠を明らかにして書く
			4	76.4	78.7	-2.3	1.7	語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解する

4

文章に表れているものの方や考え方について、自分の考えをもつことができないかどうかをみる。

▽【第一学年】C読むことオ

三 「みんなの短歌」に掲載されている内山さんの短歌、森川さんの短歌、松田さんの短歌の中から一首を選び(どの短歌を選んでいいかまいせん)、その短歌を読んであなたが感じたことや考えたことを、「選者より」を参考にしながら、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。
 なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 選んだ短歌の中の言葉を取り上げて、想像できる情景や心情を書くこと。

条件2 条件1で想像した内容について、あなたが感じたことや考えたことを具体的に書くこと。

正答率90.2%

全国学力・学習状況調査 調査結果の主な特徴〈全国〉

③話し合いの話題や方向を捉えることはできているが、それを踏まえて自分の考えをもつことに課題がある。

大問2 話し合いをする(文化祭)【話すこと・聞くこと】
 設問三 「地域とのつながりを大切にしたい文化祭にするために」という議題での話し合いの流れを踏まえ、まだ「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを書く問題

正答率:57.2%(60.4%)

無解答率:12.3%(8.9%)

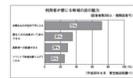
* () 内は全国



全国学力・学習状況調査 調査結果の主な特徴〈全国〉

④自分が伝えたいことについて資料の中から根拠となる情報を取り出して正確に書くことはできているが、自分が伝えたいことの根拠として読み手に分かりやすいように書くことに課題がある。

大問3 意見文を書く(地域の店)【書くこと】
 設問二 広報誌の一部にある情報(アンケート結果)を用いて、意見文に地域の店の「魅力」の具体例を書き加える問題



- ・情報を適切に用いて正確に書いている。22.1%(18.4%)
- ・取り上げた情報を基に自分の考えを加えて書いている。54.2%(59.4%)

正答率:75.2%(77.8%)

無解答率:11.0%(7.9%)



全国学力・学習状況調査 調査結果の主な特徴〈全国〉

②封筒の書き方を理解し、文字の大きさや配列などに注意して書くことに課題がある。

大問1 情報を読む(新聞)
 【伝統的な言語文化と国語に関する特質に関する事項】
 設問四 封筒の書き方を理解して宛名を書く問題

正答率:52.2%(56.8%)

無解答率:7.6%(5.6%)

【全国中学生新聞】を読み、「声の広場」へ投稿するという場面設定の下、紙面の投稿先の情報から封筒へ宛名を記入。



文章に表れているものの方や考え方について、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。

▽【第一学年】C読む

三 「みんなの短歌」に掲載されている内山さんの短歌、森川さんの短歌、松田さんの短歌の中から一首を選び(どの短歌を選んでいいか)を、その短歌を選んであなたが感じたことや考えたことを、「選者より」を参考にしながら、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 選んだ短歌の中の言葉を取り上げて、想像できる情景や心情を書くこと。

条件2 条件1で想像した内容について、あなたが感じたことや考えたことを具体的に書くこと。

正答率90.2%

話し合いの話題や方向を捉えて、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。

▽【第一学年】A話しすること・聞くこと・オ



正答率57.2%

三 場面3のAで山下さんは、「どうするか決まっていな」と「について自分の考えを述べよう」としています。あなたなら、どのような考えを述べますか。

次の条件1と条件2にしたがって、実際に話すように書きなさい。なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていな」と「とは何かを明確にして書くこと。

条件2 条件1で示した「どうするか決まっていな」と「を解決する具体的な案を考えて書くこと。

全国学力・学習状況調査の活用について

調査の目的や意義について、正しく理解しましょう

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

課題の把握と改善

学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

個々の生徒への指導の充実

そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

PDCAサイクルの確立

全国学力・学習状況調査の活用

○校内研修で活用

- ① 教員が問題を解く
- ② ①を踏まえ、授業改善の方向性について話し合い、具体的な取組事項を決定する。
- ③ 取組事項を、学力向上実行プランに反映させる。
- ④ 学力向上実行プランにそって、定期的に検証・改善を行う。

★求められている学力を教員が理解し、授業改善につなげることができる。
★調査問題を踏まえた授業改善を、学校全体で行うことができる。

○調査の実施

- ① 正答率の低い問題について分析し、課題を洗い出す。
- ② 調査対象学年の課題を学校全体で共有し、学年・学級の授業改善に取り組む。
- ③ 調査結果を生かし、個に応じたきめ細かい指導を行う。

★生徒の学習状況を客観的に把握し、課題を明確にすることができる。
★生徒の課題に即した個別の支援や授業改善ができる。

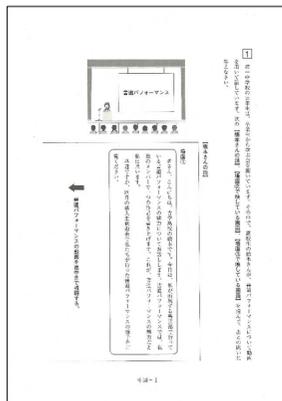
○授業で調査問題を活用

- ① 調査問題を扱う学年や学習内容を確認し、授業の学習課題にしたり、単元のまとめで解いたりして活用する。
- ② 授業をする際には、「解説資料」を参考にする。

★全国学力・学習状況調査の問題を実際の授業展開に生かすことができる。
★授業の進度を遅らせず、調査問題を取り扱うことができる。

1. 出題の趣旨

- 資料や機器などを効果的に活用した話し方について理解すること
- 行書の特徴を理解すること
- 自分の考えが相手に分かりやすく伝わるように工夫して話すこと



■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

- 〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと
ア 日常生活の中の話題について報告や紹介をしたり、それらを聞いて質問や助言をしたりすること。
- 〔第2学年〕 A 話すこと・聞くこと
ア 調べて分かったことや考えたことなどに基づいて説明や発表をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。

条件1 橋本さんへのお礼の言葉を実際に話すように書くこと。

条件2 橋本さんの伝えたいことを取り上げて、自分がそれをどのように受け止めたのかが分かるように具体的に書くこと。



設問三 趣旨

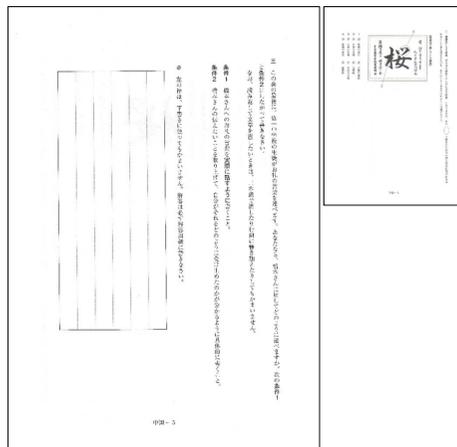
自分の考えが相手に分かりやすく伝わるように工夫して話すことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

- 〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと
イ 全体と部分、事実と意見との関係に注目して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。
《話すこと》

■評価の観点

国語への関心・意欲・態度
話す・聞く能力

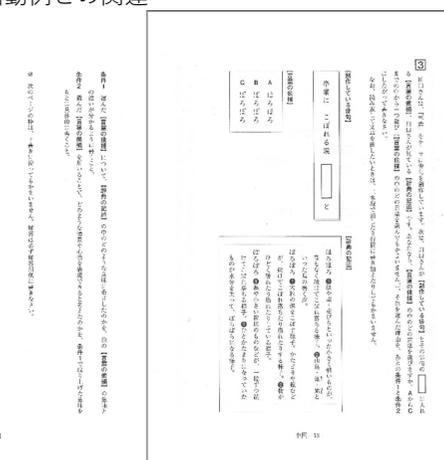


1. 出題の趣旨

- 自分の考えが読み手に**効果的**に伝わるように、説明や具体例を加えて書くこと

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

- 〔第2学年〕 B 書くこと
ア 表現の仕方を工夫して、詩歌をつくったり物語などを書いたりすること。
- 〔第2学年〕 B 書くこと
イ 多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書くこと。



設問 趣旨

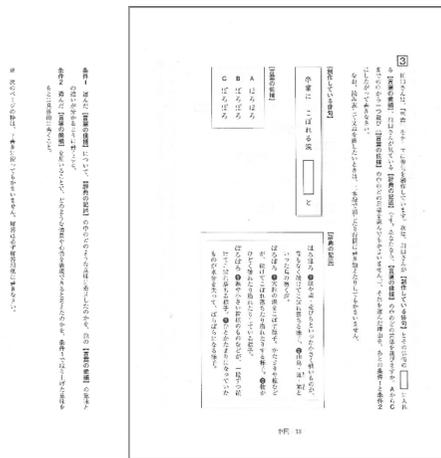
自分の考えが読み手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えて書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

(第2学年) B 書くこと
ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。
《記述》

■評価の観点

国語への関心・意欲・態度
書く能力

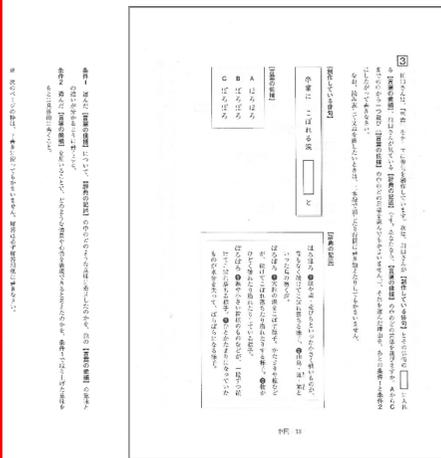


21

設問 趣旨

自分の考えが読み手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えて書くことができるかどうかをみる。

条件1 選んだ【選んだ言葉の候補】について、【辞典の記述】の中のどのような意味に着目したのかを、他の【言葉の候補】の意味との違いが分かるように書くこと。
条件2 選んだ【言葉の候補】を用いることで、どのような情景や心情を実現できると考えたのかを、条件1で取り上げた意味をもとに具体的に書くこと。



22

2. 解説

設問一

趣旨

資料や機器などを効果的に活用した話し方について理解しているかどうかをみる。

■解答類型について

- 【解答類型1, 3, 4】は、資料や機器などを効果的に活用した話し方について考えることに課題がある。橋本さんは、書道パフォーマンスについて、聞き手に注目してほしい内容を説明するために、必要な場で動画を静止させて話していることが理解できていないものと考えられる。
なお、選択肢1, 3, 4については、目的や場面によっては、このように動画を活用して話す場面もある。
- 【解答類型2】は、資料や機器などを効果的に活用した話し方について理解している。自分の伝えたいことを聞き手に分かりやすく伝えるためには、動画を静止させて話すことや、静止させずに一気に流して話すことが効果的な場面がある。目的や場面に応じて資料や機器などの活用を工夫することが大切である。

23

2. 解説

設問三

■解答類型について

- 本設問では、橋本さんに対して、話の構成に注意しながらお礼の言葉を述べることを求めている。お礼の言葉として相手に分かりやすく伝えるためには、橋本さんの伝えたいことを取り上げ、自分がそれをどのように受け止めたのかが分かるように具体的に述べるのが大切である。橋本さんは、メンバー全員で力を合わせて一つの作品を作り上げることが書道パフォーマンスの魅力であると話している。お礼の言葉を述べる際に、橋本さんの話から、書道パフォーマンスの道具について取り上げることも考えられるが、橋本さんの話の要点を捉えて話を構成することで、よりお礼の言葉としてふさわしくなる。このことについては、小学校第3学年及び第4学年で「A 話すこと・聞くこと」(1)エの「話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりすること。」などに係る学習を既に行っている。また、適切な敬語を用いて話すなど、お礼の言葉としてふさわしい言葉遣いで話すことも重要である。

24

2. 解説

設問三

■解答類型について

- 【解答類型1】は、自分の考えが相手に分かりやすく伝わるように工夫して話すことができている。橋本さんの話から、「メンバー全員で力を合わせて一つの作品を作り上げることが書道パフォーマンスの魅力であること」を取り上げ、自分がそれをどのように受け止めたのかが分かるように話を構成し、お礼の言葉を実際に話すように書いている。
- 【解答類型2】は、自分の考えが相手に分かりやすく伝わるように工夫して話すことができている。橋本さんの話から、「メンバー全員で力を合わせて一つの作品を作り上げることが書道パフォーマンスの魅力であること」以外の内容を取り上げ、自分がそれをどのように受け止めたのかが分かるように話を構成し、お礼の言葉を実際に話すように書いている。

2. 解説

設問三

■解答類型について

- 【解答類型3】は、橋本さんの伝えたいことを自分がどのように受け止めたのかが分かるように表現することに課題がある。具体的な例としては、以下のようなものが考えられる。

(例)

- ・ 橋本さん、本日はありがとうございました。橋本さんのお話を伺って、メンバー全員で力を合わせて一つの作品を作り上げる書道パフォーマンスの魅力が分かりました。

- 【解答類型4】は、橋本さんの伝えたいことを取り上げて表現することに課題がある。具体的な例としては、以下のようなものが考えられる。

(例)

- ・ お話を聞いて私も橋本さんのように頑張ろうと思いました。ありがとうございました。

2. 解説

設問三

■解答類型について

- 【解答類型5】は、お礼の言葉としてふさわしい言葉遣いで実際に話すように表現することに課題がある。具体的な例としては、以下のようなものが考えられる。

(例)

- ・ 橋本さんの書道パフォーマンスの話はとても参考になった。行書で文字を書いている、中学校の授業で学んだことが生かされていることが分かり、私も毎日の授業を大切に受けようと思った。

2. 解説

設問

趣旨

自分の考えが読み手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えて書くことができるかどうかをみる。

■解答類型について

- 【解答類型1】は、自分の考えが読み手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えて書くことができている。本問では、【創作している俳句】の口に入れる言葉の一つを選び、選んだ【言葉の候補】について、【辞典の記述】の中のどのような意味に着目したのかを、他の【言葉の候補】の意味との違いが分かるように書く必要がある。実際の言語活動の中で、例えば、候補に挙がった複数の言葉がもつ微妙な意味の違いについて取り上げたい場合には、本解答類型のように、選んだ【言葉の候補】の意味に触れるとともに、選んでいない【言葉の候補】の意味にも触れて書くことが効果的である。

2. 解説

設問

趣旨

自分の考えが読み手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えて書くことができるかどうかをみる。

■解答類型について

- 【解答類型2】は、自分の考えが読み手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えて書くことができている。実際の言語活動の中で、例えば、自分の考えがなぜその言葉を選んだのかを簡潔に説明したい場合には、本解答類型のように、複数の【言葉の候補】について吟味した過程については触れず、選んだ【言葉の候補】がもつ特徴的な意味のみを取り上げるなど、必要かつ最小限の情報を示して書くことが効果的である。

2. 解説

設問

趣旨

自分の考えが読み手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えて書くことができるかどうかをみる。

■解答類型について

- 【解答類型3】は、選んだ【言葉の候補】について、【辞典の記述】の中にどのような意味に着目したのかを、他の【言葉の候補】の意味との違いが分かるように書くことはできているが、選んだ【言葉の候補】を用いてどのような情景や心情を表現できると考えたのかを書くことに課題がある。具体的な例としては、以下のようものが考えられる。

2. 解説

■解答類型について

- 【解答類型3】は、選んだ【言葉の候補】について、【辞典の記述】の中にどのような意味に着目したのかを、他の【言葉の候補】の意味との違いが分かるように書くことはできているが、選んだ【言葉の候補】を用いてどのような情景や心情を表現できると考えたのかを書くことに課題がある。具体的な例としては、以下のようものが考えられる。

(例)

・A

「音もなく続けてこぼれ落ちる」という意味に着目した。「ぼろぼろ」や「ぼろぼろ」には、「音もなく」という意味は示されていない。「ほろほろ」を使うことで情景や心情がより伝わりやすくなると思った。

このように解答した生徒は、【言葉の候補】の意味の違いについて書いているが、情景や心情を具体的に書いていない。

(例)

・A

「音もなく続けてこぼれ落ちる」という意味に着目した。「ぼろぼろ」や「ぼろぼろ」には、「音もなく」という意味は示されていない。「ほろほろ」を使うことで情景や心情がより伝わりやすくなると思った。

このように解答した生徒は、【言葉の候補】の意味の違いについてのみ書いており、どのような情景や心情を表現できると考えたのかを書いていない。

2. 解説

■解答類型について

- 【解答類型4】は、選んだ【言葉の候補】を用いてどのような情景や心情を表現できると考えたのかを具体的に書くことはできているが、選んだ【言葉の候補】について、【辞典の記述】の中のどのような意味に着目したのかを、他の【言葉の候補】の意味との違いが分かるように書くことに課題がある。具体的な例としては、以下のようものが考えられる。

(例)

・B

卒業式最中に、大切な仲間たちと過ごした三年間の様々な出来事を思い出し、涙があふれ出てくる様子を表現するために、涙がこぼれるという意味が含まれている「ぼろぼろ」を選びました。

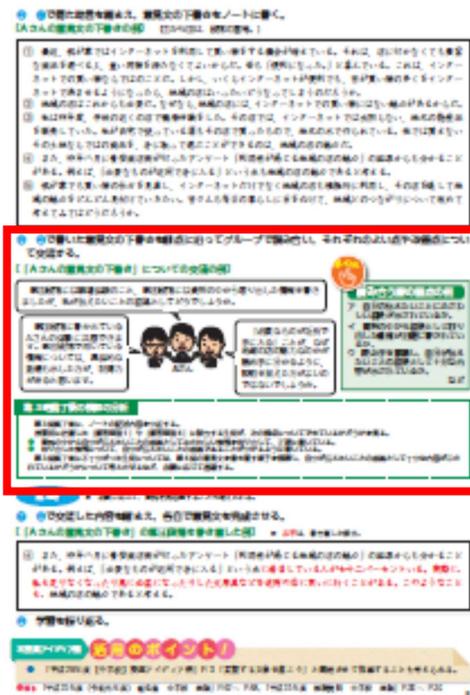
このように解答した生徒は、「涙がこぼれる」という三つの【言葉の候補】に共通した意味しか取り上げていない。

(例)

・C

私は「ぼろぼろ」という言葉に着目した。こらえようとしてもこらえられきれない悲しさを伝えられると考えた。

このように解答した生徒は、【辞典の記述】の中のどのような意味に着目したのかを書いていない。



評価の観点

「第3時終了後の教師の分析」

授業終了後のノートやワークシートを確認をして記述内容を分析する。

「根拠を示して説明しよう」資料を引用してレポートを書く

学習の流れ

- 【集める】（第1時）
 - 「文化祭を成功させるために」というテーマに沿って、調べたことや考えたことを整理してクラスの人々に提案するための学習の見通しをもつ。
 - 各自で、多様で、必要な情報を集める。
 - 【整理する・組み立てる】（第2時）
 - 各自で「プレゼンテーションシート」を作成する。
 - 効果的な提案の構成を考える。
 - 「最も伝えたいこと：クラスの出し物の提案」に説得力を高めるための根拠を示す。
 - クラスのみんなからの「問い」を立てながら構成する。
 - 【組み立てる】（第3時）
 - プレゼンテーションアプリを用いて提案資料の作成をするとともに、グループ内で提案資料を確認する。
 - 聞き手（読み手）は資料（電子データ）のメモ欄に質問を記入する。
 - 聞き手の質問等を確認し、提案資料を見直す。
 - 修正資料は、完成版資料として保存する。
 - 【伝え合う】（第4時）
 - グループごとにプレゼンテーションをする。
 - 相手や目的に一番適した提案をクラスで選び、その理由も含めて話し合う。
 - 【振り返る】（第5時）
 - 話し方や構成、提案資料について振り返り、よかった点や改善点を考える。
- （言語活動）
 「文化祭を成功させるために」というテーマに沿って、調べたことや考えたことを整理してクラスの人々に提案する。

指導改善に向けて

- 【話すこと・聞くこと】
- **目的や場面に応じて話し合い、自分の考えをまとめる指導の工夫**
 - ・ 各学年における話し合うことに関する指導を意図的・計画的に行うとともに、話すことに関する事項及び聞くことに関する指導事項との密接な関係を図って指導する。
- 【書くこと】
- **目的や意図に応じて相手に分かりやすく書く指導の工夫**
 - ・ 各学年における記述に関する指導を意図的・計画的に行うとともに、小学校での学習を踏まえ、自分の考えの根拠として用いる情報が適切かどうかを検討したり、自分の考えとの関係が分かるように記述したりするように指導する。

指導改善に向けて

- 【読むこと】
- **文章の構成や展開を理解し、内容を的確に捉える指導の工夫**
 - ・ 文章の特徴を把握するとともに、これまでの読書経験や体験などを踏まえ、内容や表現を、想像、分析、比較、対照、推論などによって相互に関連づけて読むように指導する。